

医薬品と保健的食品の適切な使用を支援する情報紙

ふあるま・ねっと通信

第27号 2012/2

ふあるま・ねっと の ”ふあるま” はラテン語で薬を意味します

発行：特定非営利活動法人 ふあるま・ねっと・みやぎ

Fax：022-251-0767

e-mail：pharm-nm@js3.so-net.ne.jp

http://www.geocities.jp/pharmanet_myg/

・・・ 糖尿病患者が急増 世界で3億人突破 ・・・

現在の世界の糖尿病患者が3億人を越えたことが、国際糖尿病連合の調査でわかりました。国別では初めて中国が1位になったことなど、アジアにおける患者数の増加が目立ちます。2030年には5億5200万人に達する見込みのようです。推計によると、2011年の患者数は3億6600万人であり、2010年時点の2億8460万人に比べ約30%も増加していて、患者の急増に対して歯止めがかかっていないことが浮き彫りになりました。国別では2位だった中国が9000万人に達したので、インドを抜いて1位になりました。日本はというと6位の1070万人で前回の8位よりも悪化の傾向にあります。私たち一人ひとりが意識して、よい生活習慣を心がけましょう。

紙上講座 統合医療について(その6)

最近、癌の治療において健康食品(アガリクス、プロポリスなど)が注目されています。医学的治療により治る見込みがない場合や再発の危険がある場合に、効果が明らかでない不確実な治療であっても、民間療法などを受けようとする人が多いようです。

近年では、現代西洋医学と民間医療などを組み合わせて治療を行う「統合医療」が推進されつつあります。そこで私たちがどのように向き合い、利用したらよいのか考えてみましょう。

6 補完代替医療の利用実態は

2005年に発表されたがんの医療現場における補完代替医療の実態調査によれば、44.6%のがん患者が補完代替医療を使っていることがわかりました。更に健康食品をどんな目的で使っているかという質問に対しては、「癌の進行抑制」や「治療」という回答が多く、次の表のようになっています。

それに対して、欧米では「症状の緩和」や「通常医

療を補完するため」が多く、利用の内容も鍼灸やマッサージ、心理療法など多岐にわたっています。

補完代替医療を利用しているがん患者の背景

◎補完代替医療を利用する目的

がんの進行抑制	67.1%
治療	44.5%
症状の緩和	27.1%
通常医療を補完するため	20.7%
(複数回答可)	

◎補完代替医療を利用し始めたきっかけ

家族や友人からの進め	77.7%
自らの意思で	23.3%
新聞・雑誌	8.3%
(複数回答可)	

日本ではなぜこのように健康食品の利用頻度が高いのか、いろいろと理由は考えられますが、明らかではありません。みなさんはいかがでしょう。

話題の食品 ⑳ バターバー(西洋ふき)

バターバーは日本ではあまりなじみがないようですが、花粉症に良いと宣伝されているハーブです。

バターバーは、キク科の多年草で、ヨーロッパでは古くから民間薬として使用されてきました。葉には抗菌作用と抗酸化作用があり、「花粉症に良い」「片頭痛に良い」「尿管炎症に良い」などと言われています。

有効性に関しては、ドイツの薬用植物評価委員会(コミッションE モノグラフ)が尿路の急性のけいれん痛に対する使用を認めています。バターバーを含む特定の製剤で片頭痛に有効という報告や、バターバーに含まれるペタシンという物質が、鼻炎の症状を緩和するという報告があります。

安全性に関しては、バターバーに含まれるピロリジジナルカロイドという成分が肝臓に毒性を持つので、使用する場合は、この成分が除去されたものか確認が必要です。また、英国でバターバー製品との関連が疑われる肝毒性 40 例が報告されました。これらの症例で使用された製品はピロリジジナルカロイドが除去されたものだったので、それ以外の成分の関与の可能性もあります。これにより、英国ではバターバーを含む製品の自主回収の措置を講じました。日本でも厚生省が2012年2月バターバーを含む食品の摂取を控えるよう消費者への注意喚起をしました。

一部の鼻炎薬や抗菌薬、抗痙攣薬の中には、飲み合わせるとバターバーの毒性を強めるものがあるので、使用は慎重にすべきです。

また、バターバーはキク科植物アレルギーの人は使えません。妊娠中・授乳中の人は避けたほうがよいでしょう。

〜〜【得する情報】〜〜

バターバーのはたらき

【期待される機能性】

- ・ 花粉症改善
- ・ 片頭痛軽減
- ・ 尿路の急性けいれん痛の軽減

【安全性】

- ・ 肝毒性
- ・ 頭痛、目のかゆみ、便秘、下痢、ぜんそく、かゆみ、疲労感などの報告がある

【相互作用】

- ・ 薬物代謝酵素を誘導する薬剤やサプリメントで肝毒性が強まることもある

【摂取に注意が必要な人】

- ・ 妊娠中の人
- ・ 授乳中の人
- ・ キク科植物アレルギーの人

ふあるま・ねっと・みやぎの活動

1. 出前講座・・・地域グループ、学校関係、各種施設などの小規模な集まりに、ご希望に応じた「はなし」を出前いたします。(1時間程度)
2. 各種イベント、講演会への講師派遣(1~2時間)
3. ふあるま・ねっと・みやぎが企画するイベント：公開フェア、研修会 など
☆講座、講演の内容(メニュー)および詳細は事務所に問い合わせるか、「ふあるま・ねっと・みやぎ」ホームページをご覧ください。

〔問合せ、申込先〕 ☎981-8002 仙台市泉区南光台南3-6-21

TEL・FAX：022-251-0767 e-mail：pharm-nm@js3.so-net.ne.jp

(グループまたは団体名、代表者名、電話番号、資料送信先FAX番号を記入してください)

ホームページ： http://www.geocities.jp/pharmanet_myg/

4. 会員・・・会の趣旨に賛同する方(詳細はお問い合わせください)
会員特典・・・情報、資料等の無料提供(印刷実費、送料のみ有料) 研修会への参加費割引など